

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
学校教育課	松本 晃治
生涯学習課	引野 雅文
子ども未来課	服部 智昭

重点目標	4	豊かな人間性・社会性を育みます
基本的方針	学校園、家庭、地域及び行政の協働により、子どもたちが周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」を育むとともに、人や社会との絆、思いやりを大切にする豊かな人間性・社会性を育みます。 また、不登校等の課題がある児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。	

1. 施策の方向性

PLAN

1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成	①小中一貫教育による学校園や校種を超えた交流授業や合同行事など、多様な集団での活動を充実し、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係や社会性を育みます。 ②生命を大切にする心や他人を尊重する心などを育むとともに、すべての教育活動において、就学前から中学校までの系統性・一貫性のある道徳教育や人権教育を推進します。 ③地域の人々との幅広い交流の機会を拡充することで、ルールやマナー、社会常識、社会性を育みます。 ④各中学校区において、学校園、家庭及び地域が子どもたちの生活実態や課題を共有し、規範意識や社会性を高める取り組みを協働して進めます。 ⑤情報機器の適切な使用やSNSに代表される情報通信ネットワークのルール・モラル等について、児童生徒の実態に応じて具体的に指導するとともに、専門家や学校支援ボランティア等と連携し、系統的かつ一貫性のある指導体制を整備します。
2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実	①子どもたちが集団生活を通して課題を解決する意欲と実践力を身に付けることができるよう、一人ひとりの生活実態の把握や内面理解の充実を図ります。 ②学校園の状況に応じてスクールサポーターを配置するなど、子ども一人ひとりの課題やニーズに対応するきめ細かな支援体制を整備します。 ③いじめの防止等に関する基本的な方針を基に、組織体制の整備を行うとともに、関係機関と連携し対策の総合的な実施を一層推進します。 ④不登校等の児童生徒の多様な実態と課題に対応し、学校復帰を目指すため、教育支援センター「麦わら」の相談支援機能を高めます。
3. 家庭・地域の教育力の向上	①各中学校区の学校園、家庭及び地域が、育みたい子ども像や児童生徒の実態及び課題を共有し、緊密に連携して指導を行うしくみづくりを進めます。 ②家庭は自己肯定感や豊かな心、他者に対する思いやりや命を大切にする気持ちなどを養う最も重要な役割を担うため、就学前から青年期までの子どもの成長段階に応じた家庭教育支援を進めます。 ③子どもの豊かな人間性・社会性を育むとともに、孤立しがちな親や子育てに悩みを抱えている親への支援等のため、すべての町域における家庭教育支援チームの活動を進めるとともに、関係団体の活動を支援します。 ④子どもたちが身近な地域で体験や交流ができる活動を充実します。 ⑤地域における子どもたちの活動拠点を確保し、地域ボランティアの協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動を行う地域子ども教室の拡充を進めます。 ⑥青少年の健全育成と安全・安心な地域づくりのため、青少年健全育成会をはじめ、関係団体と連携した効果的な活動を進めます。
4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成	①子どもが生涯にわたって芸術や自然を愛する心や豊かな感性を育むための体験活動や、学校支援ボランティア等の専門的な知見や技能を活用するなど、我が国や京丹後市の伝統文化や自然環境、文化・芸術等に親しみ、学ぶ機会を充実します。 ②学校園や家庭での読書活動により子どもの豊かな情緒を育むため、関係機関・団体等との連携・協力関係をさらに強化し、学校園、家庭及び地域が一体となった取り組みを進めるとともに、学校図書館の機能強化を図ります。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市いじめ防止等基本方針	国、府、学校、地域社会、家庭及びその他の関係者が連携のもと、社会総がかりでいじめの問題の克服に向けて取り組むとともに、いじめ防止対策推進法第12条の規定に基づき、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進するために策定	平成26年6月	計画期間の定めなし	策定から3年経過を目途に見直し(平成30年度見直し)
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力をすべての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

2. 主な取組と構成事務事業一覧		PLAN	DO	※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照		CHECK	ACT
1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善		
主な取り組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性		
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課					
<p>① 小中一貫教育による学校園や校種を超えた交流授業や合同行事など、多様な集団での活動を充実し、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係や社会性を育みます。</p> <p>② 生命を大切にする心や他人を尊重する心などを育むとともに、すべての教育活動において、就学前から中学校までの系統性・一貫性のある道徳教育や人権教育を推進します。</p> <p>③ 地域の人々との幅広い交流の機会を拡充することで、ルールやマナー、社会常識、社会性を育みます。</p> <p>④ 各中学校区において、学校園、家庭及び地域が子どもたちの生活実態や課題を共有し、規範意識や社会性を高める取り組みを協働して進めます。</p> <p>⑤ 情報機器の適切な使用やSNSに代表される情報通信ネットワークのルール・モラル等について、児童生徒の実態に応じて具体的に指導するとともに、専門家や学校支援ボランティア等と連携し、系統的かつ一貫性のある指導体制を整備します。</p>							
1	小学校教育推進活動実践事業	学校教育課		2,237	2,063	1,934	現状維持
国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。							
2	中学校教育推進活動実践事業	学校教育課		1,377	1,082	1,161	現状維持
国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。							
2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実		決算額(単位:千円)			事務の改善		
主な取り組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性		
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課					
<p>① 子どもたちが集団生活を通して課題を解決する意欲と実践力を身に付けることができるよう、一人ひとりの生活実態の把握や、内面理解の充実を図ります。</p> <p>② 学校園の状況に応じてスクールサポーターを配置するなど、子ども一人ひとりの課題やニーズに対応するきめ細かな支援体制を整備します。</p> <p>③ いじめの防止等に関する基本的な方針を基に、組織体制の整備を行うとともに、関係機関と連携し対策の総合的な実施を一層推進します。</p> <p>④ 不登校等の児童生徒の多様な実態と課題に対応し、学校復帰を目指すため、教育支援センター「麦わら」の相談支援機能を高めます。</p>							
3	いじめ防止啓発推進事業	学校教育課		194	158	266	現状維持
「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づきいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。							
4	いじめ防止対策等運営事業	学校教育課		212	227	389	現状維持
いじめ問題対策連絡会議及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。							
5	指導主事設置事業	学校教育課		9,939	9,934	9,964	現状維持
非常勤指導主事を配置し、学校教育及び就学前教育の充実を図るとともに、円滑な学校経営を推進する。							
6	就学支援・教育相談事業	学校教育課		1,724	510	250	現状維持
児童生徒の不登校や問題行動の状況を把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送ることができるように支援する。							
7	教育支援センター管理運営事業	学校教育課		8,308	8,005	9,544	現状維持
不登校、又はその傾向にある児童生徒の学校生活への復帰と社会的自立を支援する。							
8	小学校スクールサポーター等設置事業	学校教育課		48,324	41,902	39,830	現状維持
スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。							
9	中学校スクールサポーター等設置事業	学校教育課		44,918	32,243	29,201	現状維持
スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。							
3. 家庭・地域の教育力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善		
主な取り組み		H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性		
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課					
<p>① 各中学校区の学校園、家庭及び地域が、育みたい子ども像や児童生徒の実態及び課題を共有し、緊密に連携して指導を行うしくみづくりを進めます。</p> <p>② 家庭は自己肯定感や豊かな心、他者に対する思いやりや命を大切にする気持ちなどを養う最も重要な役割を担うため、就学前から青年期までの子どもの成長段階に応じた家庭教育支援を進めます。</p> <p>③ 子どもの豊かな人間性・社会性を育むとともに、孤立しがちな親や子育てに悩みを抱えている親への支援等のため、すべての町域における家庭教育支援チームの活動を進めるとともに、関係団体の活動を支援します。</p> <p>④ 子どもたちが身近な地域で体験や交流ができる活動を充実します。</p> <p>⑤ 地域における子どもたちの活動拠点を確保し、地域ボランティアの協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動を行う地域子ども教室の拡充を進めます。</p> <p>⑥ 青少年の健全育成と安全・安心な地域づくりのため、青少年健全育成会をはじめ、関係団体と連携した効果的な活動を進めます。</p>							
10	家庭子ども相談室事業	子ども未来課		533	1,318	3,058	現状維持
家庭児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。							
11	家庭教育事業	生涯学習課		1,681	1,841	1,938	現状維持
子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進するため、発達段階に応じた学習機会を提供し、きめ細やかな家庭教育の支援を実施する。							
12	放課後児童健全育成事業	子ども未来課		166,462	163,785	176,242	現状維持
保護者の就労等により放課後及び長期休業期の昼間に家庭保育を受けることのできない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。							

13	子ども放課後対策推進事業	子ども未来課	883	891	948	現状維持
放課後等に小学校の余裕教室等を子どもたちの安全・安心な居場所として活用し、地域住民の参画により、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。						
4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)			担当課			
① 子どもが生涯にわたって芸術や自然を愛する心や豊かな感性を育むための体験活動や、学校支援ボランティア等の専門的な知見や技能を活用するなど、我が国や京丹後市の伝統文化や自然環境、文化・芸術等に親しみ、学ぶ機会を充実します。						
② 学校園や家庭での読書活動により子どもの豊かな情緒を育むため、関係機関・団体等との連携・協力関係をさらに強化し、学校園、家庭及び地域が一体となった取り組みを進めるとともに、学校図書館の機能強化を図ります。						
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業			決算額(単位:千円)			事務の改善
事務事業名称・事業内容(実績)			H29決算額	H30決算額	H31予算額	評価を踏まえた今後の方向性
14 放課後子ども総合プラン事業			子ども未来課			
国の「放課後子ども総合プラン」に基づき実施する、放課後子ども教室の運営方法を検討するため運営委員会は、任期満了に伴い、必要な審議等を子ども未来まちづくり審議会にて行うこととした。			0	0	-	統合(整理)
			計	286,792	263,959	274,725

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本の方針	学校園、家庭、地域及び行政の協働により、子どもたちが周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」を育むとともに、人や社会との絆、思いやりを大切にする豊かな人間性・社会性を育みます。 また、不登校等の課題がある児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。							
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
				年度		年度		年度
	不登校児童の発生率<小学校>	—	5人/0.16%	H25	0.28	H30	減少させる	R6
	不登校生徒の発生率<中学校>	—	47人/2.49%	H25	3.12	H30	減少させる	R6
	いじめの認知件数/発生率<小学校>	—	386件/12.7%	H25	483件 19.1%	H30	減少させる	R6
	いじめの認知件数/発生率<中学校>	—	189件/10.2%	H25	40件 2.8%	H30	減少させる	R6
	認知されたいじめの年度内解消率<小学校>	—	357件/92.5%	H25	91.0 (いじめの解消要件が定義されたため、平成30年度第2回調査の追跡調査結果を記載)	H30	100%	R6
	認知されたいじめの年度内解消率<中学校>	—	181件/95.8%	H25	95.0 (いじめの解消要件が定義されたため、平成30年度第2回調査の追跡調査結果を記載)	H30	100%	R6
	いじめはいけないことだという意識がある児童の割合<小学校>	%	97.0 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙 小6	H25	98.6	H30	増加させる	R6
	いじめはいけないことだという意識がある生徒の割合<中学校>	%	90.9 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙 中3	H25	96.1	H30	増加させる	R6
学校のきまりや規則を守る意識がある児童の割合<小学校>	%	93.8 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙 小6	H25	86.2	H30	増加させる	R6	
学校のきまりや規則を守る意識がある生徒の割合<中学校>	%	90.8 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙 中3	H25	96.7	H30	増加させる	R6	
人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童の割合<小学校>	%	94.4 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙 小6	H25	93.3 (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力診断テスト質問項目による)	H30	増加させる	R6	

人の気持ちが分かる人間になりたいと思う生徒の割合<中学校>	%	95.2 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙中3	H25	98.3 (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問用紙から外れたため京都府学力診断テスト質問項目による)	H30	増加させる	R6
人の役に立つ人間になりたいと思う児童の割合<小学校>	%	94.0 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙小6	H25	96.3	H30	増加させる	R6
人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合<中学校>	%	93.2 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙中3	H25	96.9	H30	増加させる	R6

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本の方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK ACT

進捗状況区分	評価	30年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	<p>《不登校児童生徒の発生率》 不登校児童生徒の発生率は、小中一貫教育の推進による各校園での未然防止を重点とした取組みや確実な情報の共有等によって、不登校解消に一定の成果は上がっているものの、不登校の出現率が増加傾向にある。特に中学校では、前年度比0.37%の増加となっており、出現率を減少させるための効果的な未然防止の取組強化が更に必要である。</p> <p>《いじめの認知件数/発生率》 いじめの認知率は、小学生で7.9%、中学校で0.7%増加した。特に小学校低・中学年の認知率が増加傾向にあるが、いじめを積極的に認知し指導しているものと捉えている。引き続き、些細な兆候も見逃さない組織的な対応を行うとともに、認知件数・認知率のみにとらわれず、より丁寧な指導を継続していく必要がある。</p> <p>《認知されたいじめの年度内解消率》 平成30年度第2回いじめ調査の認知事象に基づく追跡調査結果では、小学校で9.0%、中学校で5%が未解消であり、解消要件を踏まえ児童生徒に寄り添った指導を継続している。今後も、各校のいじめ防止基本方針に基づき、実態把握や情報共有、組織的な対応を徹底し丁寧な指導を行うとともに、関係機関と連携した体制強化を図っていく必要がある。</p> <p>《いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合》 いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合は、年間3回のいじめ調査や追跡調査、児童生徒への丁寧な指導により、小学校ではほぼ横ばい、中学校では増加し小中学校ともに高い水準を維持している。今後も児童生徒の豊かな心を育成するため、道徳科をはじめ、学校の教育活動全体を通じた取組みの充実を図る必要がある。</p> <p>《学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合》 学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合は、小中学校ともに減少したが、全国・府平均に比べて高く、各校園の丁寧な指導及び小中一貫教育による一貫性のある指導等によって、規範意識は確実に高まっている。引き続き、小学校低学年からの規範意識の醸成等による系統的な指導を進めていく必要がある。</p> <p>《人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合》 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小学生ではやや減少したものの中学生では増加し、小中学生ともに高い水準で推移している。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、人の気持ちを理解して行動したり、発言したりすることの重要性が確実に身に付いてきている。今後も個別の配慮児童生徒への丁寧な指導が必要である。</p> <p>《人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合》 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小中学校ともに増加し高い水準で推移している。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、社会貢献等への意識が確実に身に付いてきている。今後更に高めていくため、ボランティア活動など体験学習等の充実を図る必要がある。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和元年～令和3年度での主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	子どもたちの自尊感情を高め、豊かな人間性・社会性を育むため、小中一貫教育による交流学習や合同行事などの集団活動を充実させるとともに、道徳科をはじめ学校の教育活動全体を通じた系統的で一貫性のある道徳・人権教育の更なる充実を図る。
	2	いじめや不登校など、児童生徒の多様な課題に対応するため、臨床心理士による教育相談体制を拡充するとともに、教育支援センターの相談支援機能を更に高めるなど、個の課題やニーズに応じたきめ細かな相談支援体制の整備・強化を図る。
	3	地域の子ども教室では、体験活動だけでなく、教室間での情報交流についても支援しながら教室活動の維持、拡充に努める。青少年健全育成会では、各地域ごとに子どもの体験活動を実施するほか、あいさつ運動や夏休みパトロールなどで地域の子どもの見守り活動を継続する。また平成28年度からスタートした「放課後子ども教室」事業は、安定的運営を目指す。
	4	子どもたちの芸術や自然を愛する心豊かな感性を育むため、教育活動等における文化体験や芸術鑑賞など、学校支援ボランティア等を活用し、伝統文化や芸術等に親しむ機会を充実させるとともに、学校図書支援員の継続配置と学校図書の充足率向上を図る。

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	04小学校教育推進事業	決算書	P.138
細事業名	02 小学校教育推進活動実践事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
	2,063千円	2,296千円	233千円	89.8%	2,436千円	
目的	<p>国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組みとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。</p> <p>○教育実践研究指定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もうすぐ1年生体験入学推進事業 府指定：かぶと山小学校 80千円 <p>○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府指定：全校） 1,131千円 ・総合的な学習活動推進事業（市指定：全校） 546千円、585千円 <p>○学力向上システム開発校</p> <p>学力向上に係る課題に基づき実践上の取組を設定し、課題を克服するための新たな方策の開発に主体的に取り組む。</p> <p>実施校：長岡小学校 実施年度：平成29年度～30年度（2カ年） 250千円</p> <p>○教育研究事業負担金 250千円</p> <p>○修学旅行引率補助金 352千円</p>					
主要な事務・事業の概要						
主な財源	<p>府補 KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金(2/3) 364千円</p> <p>府補 ちろすぐ1年生体験入学推進事業補助金(1/2) 40千円</p> <p>府委 学力向上プログラム開発事業費委託金(10/10) 250千円</p>					
成果	<p>○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組みとともに、児童の基礎学力の向上を図るとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。</p> <p>○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	04中学校教育推進事業	決算書	P.140
細事業名	02 中学校教育推進活動実践事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
	1,082千円	1,282千円	200千円	84.3%	1,282千円	
目的	<p>国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組みとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。</p> <p>○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府指定：全校） 560千円 ・総合的な学習活動推進事業（市指定：全校） 406千円、154千円 <p>○和装教育推進事業 155千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着付け体験学習（全中学校） 受講生徒 461人 <p>○教育研究事業負担金 112千円</p> <p>○修学旅行引率補助金 255千円</p>					
主要な事務・事業の概要						
主な財源	<p>府補 KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金(2/3) 260千円</p>					
成果	<p>○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組みとともに、生徒の基礎学力の向上を図るとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。</p> <p>○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	13いじめ防止推進事業	決算書	P.136
細事業名	01 いじめ防止啓発推進事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考)当初予算額	
	158千円	167千円	9千円	94.6%	254千円	
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づきいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等の対策を総合的かつ効果的に推進する。					
主要な事務・事業の概要	<p>11月を「いじめ防止推進月間」と位置付け、いじめ問題やいじめの防止等の取組について、市民にいじめ問題について正しい理解を深めてもらうとともに、意識の高揚を図るため、街頭キャンペーンによる啓発グッズの配布や懸垂幕の設置を行った。また、学校、家庭、地域社会の連携強化を図るため、「いじめ防止講演会」を実施した。更に、問題事象に対する迅速な対応や早期解決に向けた支援を行うため、いじめ相談専用電話を設置した。</p> <p>○報償費 ・いじめ防止講演会講師謝金 50千円 開催日：平成30年11月7日(水) 会場：アグリセンター大宮 講師：丹後ひらり法律事務所 弁護士 平林美沙子氏 参加者：63人</p> <p>○需用費 ・印刷製本費 20千円 いじめ防止啓発グッズ (PRカードシール 小学新1年生用 450枚) 14千円 6千円 ・消耗品費 (講演会花代) 26千円</p> <p>○役務費 ・いじめ相談専用電話設置費 62千円 フリーダイヤル利用料、いじめ相談専用携帯電話利用料 相談受付：24時間対応 対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士 ※いじめ相談件数：0件</p> <p>○インターネットモラル研修会講師謝金 開催日：平成30年8月7日(火) 会場：アグリセンター大宮 講師：佛教大学 教育学部 教授 原 清治氏 参加者：43人</p>					
主な財源	66千円 教育支援体制整備事業補助金(1/3)					
成果・課題	<p>○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、広く市民にいじめの問題等について、正しい理解や意識の高揚を図ることができた。</p> <p>○スマートフォン等を利用したSNSなど、インターネットを介した講師中層やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と併せて教職員の指導力の向上を図る必要がある。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	13いじめ防止推進事業	決算書	P.136
細事業名	02 いじめ防止対策等運営事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考)当初予算額	
	227千円	257千円	30千円	88.3%	415千円	
目的	いじめ問題対策連絡会議及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。					
主要な事務・事業の概要	<p>○いじめ問題対策連絡会議経費 (委員数：21人) 27千円 保育所、幼稚園、こども園及び小中学校におけるいじめの防止対策や早期発見、いじめへの対処等に関する協議を行うため、「いじめ問題対策連絡会議」を設置し、教育、福祉、医療、保健、警察及び司法等の関係機関との連携を図った。</p> <p>開催日：平成30年8月22日(水) 会場：京丹後市役所峰山庁舎 ・報償費 (委員謝金) 24千円 ・旅費 (費用弁償) 3千円</p> <p>○いじめ防止対策等専門委員会経費 (委員数：5人) 200千円 いじめの防止等のための対策に関する事項や重大ないじめ事象が発生した場合に調査を行うため、弁護士、医師、臨床心理士、学識経験者からなる「いじめ防止対策等専門委員会」を設置し、それぞれの専門的な立場からいじめ事象に対する審議を行った。</p> <p>開催日：第1回 平成30年10月6日(土) 第2回 平成31年3月16日(土) 会場：京丹後市役所大宮庁舎 ・報酬 112千円 ・旅費 (費用弁償) 78千円 ・消耗品費 10千円</p>					
主な財源	66千円 教育支援体制整備事業補助金(1/3)					
成果・課題	<p>○専門的な立場から指導・助言を受けることにより、学校に対していじめの防止等のための取組やいじめ事象の解決に向けた支援を行うことができた。また、「京丹後市いじめ防止基本方針」の改定において、専門的な助言を受けた。</p> <p>○いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こり得ることを踏まえ、いじめの未然防止及び早期発見に向けた取組を推進する必要がある。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	03指導主事設置事業	決算書	P.134
細事業名	01 指導主事設置事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					(参考)当初予算額
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
執行率	99.9%	2千円	9,936千円	2千円	99.9%	9,879千円
目的	非常勤指導主事を配置し、学校教育及び就学前教育の充実を図るとともに、円滑な学校経営を推進する。					
主要な事務・事業の概要	<p>4人の非常勤指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性・見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報酬 <ul style="list-style-type: none"> ・指導主事報酬 (166,500円×4人×12か月) 7,992千円 ○共済費 <ul style="list-style-type: none"> ・社会保険料、雇用保険料 1,292千円 ○旅費 <ul style="list-style-type: none"> ・費用弁償 640千円 ○需用費 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 10千円 					
主な財源						
成果・課題	<p>学校経営、教育内容に対する専門知識や豊かな経験に基づいた指導や助言を行うことにより、不登校を含めた生徒指導上の諸問題への対応など、複雑多様化する教育現場の諸課題の克服に資することができた。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	10就学支援・教育相談事業	決算書	P.136
細事業名	01 就学支援・教育相談事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					(参考)当初予算額
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
執行率	99.0%	5千円	515千円	5千円	99.0%	515千円
目的	児童生徒の不登校など学校不登校の状況を発達検査等により把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送ることができるよう支援する。					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○教育相談事業及び研修の実施 <p>各学校において教育相談を担当する教職員や児童生徒、保護者に対し、相談事例に応じたアドバイスを助言を行うため、カウンセリングの専門的知識を有する相談員(臨床心理士)による教育相談や研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談会場 大宮庁舎及び各小中学校 ・実施回数 毎月2回(大宮庁舎) 適宜実施(各小中学校) ・相談件数 146件(延べ件数) ・教育相談担当者研修(年3回)、心の教室相談員研修(年3回) ・事例研修(各学園の教育支援部会等にて実施) ○教育支援に係る発達検査用紙購入費(需用費) 239千円 <ul style="list-style-type: none"> WISC-IV知能検査記録用紙、新版構音検査等 ○教育支援に係る発達検査器具借上料(使用料及び貸借料) 8千円 <ul style="list-style-type: none"> 日本語版感覚統合検査J-PAN感覚処理・行為機能検査 ○教育支援に係る発達検査備品購入費(備品購入費) 263千円 <ul style="list-style-type: none"> WISC-IV知能検査コンピュータセット 新版K式発達検査2001用具セット 					
主な財源	府補 未来づくり交付金(就学支援・教育相談事業) 161千円					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○臨床心理士による発達検査の実施、教育相談及び研修を実施することによって、不登校などの学校不登校が改善された。 ○児童生徒の教育支援を適切に進める上で必要な発達検査や教育相談の進め方について教員対象の研修を更に行う必要がある。 ○不登校の未然防止、解消のため、教育相談を更に充実させる必要がある。 					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01 教育総務費	02 事務局費	10 就学支援・教育相談事業	04 小学校教育推進事業
細事業名	02 教育支援センター管理運営事業			決算書	P.136
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		執行率	(参考) 当初予算額
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ ①-②	執行率	
8,005千円	8,165千円	160千円	98.0%		94,355千円
目的	<p>不登校、又はその傾向にある児童生徒の学校生活への復帰と社会的自立を支援する。</p> <p>不登校等にある児童生徒に対し、相談及び適応指導を通じ、学校生活への復帰と社会的自立を支援するため、京丹後市教育支援センター「あむら」の指導員が学校訪問等を行うとともに、関係機関や学校と連携しながら支援を行った。</p>				
主要な事務・事業の概要	<p>教育支援センター運営経費 配置人数 5人 教育支援センター指導員 配置体制 3人体制 指導員 ①週2日 1日7時間 1人 ②週3日 1日7時間 4人</p> <p>通所者 12人 相談延べ件数 1,108件 来所延べ人数 1,411人</p> <p>〇 共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 848千円 〇 臨時職員賃金（指導員） 6,684千円 〇 旅費（視察研修 ほか） 26千円 〇 需用費（消耗品費、燃料費、食糧費、修繕料） 279千円 〇 役員費（電話代、クリーニング手数料、自動車損害保険料 ほか） 95千円 〇 備品購入費（プロジェクター、電気ストープ） 68千円 〇 公課費（自動車重量税） 5千円</p>				
主な財源	繰入金 ふるさと輝基金繰入金			5,000千円	
成果・課題	<p>〇 教員経験の豊富な指導員による児童生徒等への学習・生活支援や、臨床心理士によるカウンセリングなどにより、個々のケースに応じた支援を行い、学校復帰、社会的自立を図ることができた。</p> <p>〇 不登校の早期改善を目指すため、教育支援センターの機能や役割について、児童生徒や保護者へ更に周知を図る必要がある。</p>				
所管課	教育委員会事務局 / 学校教育課				

予算科目	10教育費	02 小学校費	02 教育振興費	04 小学校教育推進事業																																					
細事業名	01 小学校スクールサポート等設置事業			決算書	P.138																																				
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		執行率	(参考) 当初予算額																																				
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ ①-②	執行率																																					
41,902千円	42,399千円	497千円	98.8%		44,094千円																																				
目的	<p>スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。</p> <p>〇 介護職員兼学校図書館支援加配 13人（1日7時間45分、週5日勤務） 〇 介護職員 12人（1日7時間、週5日勤務） 〇 学校図書館支援加配 2人（1日7時間） いさなご、長岡、橋、宇川小学校に週1日勤務 大宮南小学校に週1日勤務（学校事務補助と兼務）</p> <p>・ 臨時職員賃金 35,432千円 ・ 共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 6,462千円 ・ 事務費（校外学習引率に伴う旅費、参加負担金） 8千円</p>																																								
主要な事務・事業の概要	<p>配置一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>介護</th> <th>学校名</th> <th>介護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山小</td> <td>3人</td> <td>豊栄小</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>しんざん小</td> <td>3人</td> <td>間人小</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>大宮第一小</td> <td>3人</td> <td>吉野小</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>大宮南小</td> <td>1人</td> <td>弥栄小</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>網野北小</td> <td>2人</td> <td>久美浜小</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>網野南小</td> <td>2人</td> <td>高龍小</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>島津小</td> <td>1人</td> <td>かぼと山小</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>橋小</td> <td>2人</td> <td>計</td> <td>25人</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	介護	学校名	介護	峰山小	3人	豊栄小	1人	しんざん小	3人	間人小	1人	大宮第一小	3人	吉野小	2人	大宮南小	1人	弥栄小	1人	網野北小	2人	久美浜小	1人	網野南小	2人	高龍小	1人	島津小	1人	かぼと山小	1人	橋小	2人	計	25人
学校名	介護	学校名	介護																																						
峰山小	3人	豊栄小	1人																																						
しんざん小	3人	間人小	1人																																						
大宮第一小	3人	吉野小	2人																																						
大宮南小	1人	弥栄小	1人																																						
網野北小	2人	久美浜小	1人																																						
網野南小	2人	高龍小	1人																																						
島津小	1人	かぼと山小	1人																																						
橋小	2人	計	25人																																						
主な財源	市費 通称地域自立促進特別事業費（過疎対策費）			22,000千円																																					
成果・課題	<p>〇 必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行つてきた。</p> <p>〇 各校に学校図書館支援加配を配置することで、学校図書館の充実を図ることができた。</p> <p>〇 児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。</p>																																								
所管課	教育委員会事務局 / 学校教育課																																								

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	04中学校教育推進事業	決算書	P.140																																																
細事業名	01 中学校スクーラー・クラブ等設置事業																																																					
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実	不用額	(2)-(1) 執行率	(参考) 当初予算額																																																	
決算	額	① 最終予算額	② 33,100千円	857千円	97.4%	36,305千円																																																
目的	スクーラーポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。																																																					
主要な事務・事業の概要	<p>○介護職員 4人 (1日7時間、週5日勤務)</p> <p>○講師 (小中一貫コーディネーター) 6人 (1日7時間45分、週4日勤務)</p> <p>○心の教室相談員兼学校図書館支援加配 6人 (1日7時間45分、週5日勤務)</p> <p>○部活動指導員 6人 (1日2時間、年間245時間)</p> <p>・臨時職員賃金 27,675千円</p> <p>・共済費 (社会保険料、労災保険料、雇用保険料) 4,558千円</p> <p>・事務費 (研修会参加旅費) 10千円</p>																																																					
配置一覧	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>介護</th> <th>小中一貫コーディネーター</th> <th>相談員</th> <th>部活動指導員</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山中</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>大宮中</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>網野中</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>丹後中</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>弥栄中</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>久美浜中</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4人</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>22人</td> </tr> </tbody> </table>						学校名	介護	小中一貫コーディネーター	相談員	部活動指導員	計	峰山中	0人	1人	1人	1人	3人	大宮中	0人	1人	1人	1人	3人	網野中	2人	1人	1人	1人	5人	丹後中	1人	1人	1人	1人	4人	弥栄中	0人	1人	1人	1人	3人	久美浜中	1人	1人	1人	1人	4人	計	4人	6人	6人	6人	22人
学校名	介護	小中一貫コーディネーター	相談員	部活動指導員	計																																																	
峰山中	0人	1人	1人	1人	3人																																																	
大宮中	0人	1人	1人	1人	3人																																																	
網野中	2人	1人	1人	1人	5人																																																	
丹後中	1人	1人	1人	1人	4人																																																	
弥栄中	0人	1人	1人	1人	3人																																																	
久美浜中	1人	1人	1人	1人	4人																																																	
計	4人	6人	6人	6人	22人																																																	
主な財源	府補 部活動指導員配置促進事業補助金 (2/3) 1,243千円					市債 過疎地域自立促進特別事業債 (過疎対策債) 15,600千円																																																
成果・課題	<p>○必要に応じてスクーラーポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。</p> <p>○各校に学校図書館支援加配及び部活動指導員を配置することで、学校図書館の充実並びに部活動の質の向上と部活動担当教諭の負担軽減を図ることができた。</p> <p>○生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクーラーポーターの配置に努めていく必要がある。</p>																																																					
所管課	教育委員会事務局 / 学校教育課																																																					

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	03家庭こども相談室事業	決算書	P.92																														
細事業名	01 家庭こども相談室事業																																			
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進	不用額	(2)-(1) 執行率	(参考) 当初予算額																															
決算	額	① 最終予算額	② 1,507千円	189千円	87.4%	2,325千円																														
目的	家庭児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。																																			
主要な事務・事業の概要	<p>要保護児童対策地域協議会構成機関等と連携の下、児童虐待の未然防止、早期発見と適切な対応を行うとともに、支援が必要な児童や家庭 (育児不安・養育力危惧・不登校等) について相談援助活動・家庭訪問・同行支援等を行った。</p> <p>○事業実績額</p> <p>賃金 943千円</p> <p>旅費 34千円</p> <p>調整担当者研修会・担当者会議等 152千円</p> <p>児童福祉司任用資格認定講習会 (1人) 81千円</p> <p>講演会花代・事務用品等 40千円</p> <p>職員対応用携帯電話通話料 (2台) 58千円</p> <p>京都府家庭相談員連絡協議会負担金 10千円</p>																																			
〇京丹後市児童相談等取扱件数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>詳細</th> <th>件数</th> <th>種別</th> <th>詳細</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>養護</td> <td>児童虐待</td> <td>218</td> <td>性格行動</td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>147</td> <td>育成</td> <td>不登校</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>障害</td> <td>発達障害</td> <td>3</td> <td></td> <td>適性・育児等</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>非行</td> <td>く犯行為等</td> <td>1</td> <td>計</td> <td></td> <td>384</td> </tr> </tbody> </table>						種別	詳細	件数	種別	詳細	件数	養護	児童虐待	218	性格行動		4		その他	147	育成	不登校	7	障害	発達障害	3		適性・育児等	4	非行	く犯行為等	1	計		384
種別	詳細	件数	種別	詳細	件数																															
養護	児童虐待	218	性格行動		4																															
	その他	147	育成	不登校	7																															
障害	発達障害	3		適性・育児等	4																															
非行	く犯行為等	1	計		384																															
〇要保護児童対策地域協議会運営状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>会議名</th> <th>回数</th> <th>会議名</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代表者・実務者会議</td> <td>2</td> <td>ケース検討会議</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>ケース進行管理会議</td> <td>6</td> <td>講演会 (11月10日)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>						会議名	回数	会議名	回数	代表者・実務者会議	2	ケース検討会議	167	ケース進行管理会議	6	講演会 (11月10日)	1																		
会議名	回数	会議名	回数																																	
代表者・実務者会議	2	ケース検討会議	167																																	
ケース進行管理会議	6	講演会 (11月10日)	1																																	
主な財源																																				
成果・課題	<p>○調整担当者研修・児童福祉司任用資格認定講習を受講し、複雑・多様化する家庭児童問題に対応するための専門的知識の向上に努めた。</p> <p>○面談・家庭訪問・電話相談の実施、ケース検討会議の開催、要保護児童対策地域協議会の取組等により、さまざまな課題のある家庭への対応や支援を行うことができた。</p> <p>○適切な迅速な支援につなげるため、担当者の研鑽を重ねるとともに、関係機関との連携をさらに深めていくことが必要である。</p>																																			
所管課	教育委員会事務局 / 子ども未来課																																			

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	10家庭教育事業	決算書	P.142																														
細事業名	01 家庭教育事業																																			
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実					(参考)当初予算額																														
決算	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	2,081千円																																
	1,841千円	1,844千円	99.8%	3千円																																
目的	発達段階に応じた学習機会の提供及びきめ細かな家庭教育支援を実施することによって、全ての教育の出発点であり子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進する。																																			
主要な事務・事業の概要	<p>乳幼児期から就学前、思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施した。また、引き続きPTA活動の支援を行った。</p> <p>○子育て講座（講師謝金等） 220千円</p> <table border="1"> <tr> <th>事業</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> <tr> <td>乳幼児期子育て講座</td> <td>6回</td> <td>155人</td> </tr> <tr> <td>就学前、思春期子育て講座</td> <td>5回</td> <td>337人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11回</td> <td>492人</td> </tr> </table> <p>○家庭教育支援チーム事業（ファシリテーター謝金） 721千円</p> <p>子育て経験者や専門的な知識や経験を持つサポーターで構成する「家庭教育支援チーム」を各地域公民館で組織し、子育てに悩みや不安を抱えている親に対して、地域課題に即した子育て支援活動を行った。</p> <p>※家庭教育支援チーム：計6チーム、子育てサポーター：計48人</p> <table border="1"> <tr> <th>事業</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> <tr> <td>子育て交流会</td> <td>29回</td> <td>560人</td> </tr> <tr> <td>「手紙で結ぶ家族の絆」事業</td> <td>12回</td> <td>244人</td> </tr> <tr> <td>子育て広場</td> <td>10回</td> <td>284人</td> </tr> <tr> <td>高校生と赤ちゃんのふれあい交流</td> <td>17回</td> <td>263人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>68回</td> <td>1,351人</td> </tr> </table> <p>※広報誌発行（全チーム） 発行回数：各1回</p> <p>○京丹後市PTA協議会補助金 900千円</p> <p>府研究大会の開催、市研究大会の開催、各種研修会の参加、安全会掛金等への助成 622千円</p> <p>府補 家庭教育支援基盤形成事業費補助金（2/3）</p>						事業	回数	延べ参加者数	乳幼児期子育て講座	6回	155人	就学前、思春期子育て講座	5回	337人	合計	11回	492人	事業	回数	延べ参加者数	子育て交流会	29回	560人	「手紙で結ぶ家族の絆」事業	12回	244人	子育て広場	10回	284人	高校生と赤ちゃんのふれあい交流	17回	263人	合計	68回	1,351人
事業	回数	延べ参加者数																																		
乳幼児期子育て講座	6回	155人																																		
就学前、思春期子育て講座	5回	337人																																		
合計	11回	492人																																		
事業	回数	延べ参加者数																																		
子育て交流会	29回	560人																																		
「手紙で結ぶ家族の絆」事業	12回	244人																																		
子育て広場	10回	284人																																		
高校生と赤ちゃんのふれあい交流	17回	263人																																		
合計	68回	1,351人																																		
主な財源	府補 家庭教育支援基盤形成事業費補助金（2/3）																																			
成果・課題	○子どもの発達段階に応じた子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割などの重要性について、認識を深めることができた。																																			
	○関係機関との連携により、課題の共有とより効果的な学習会等の実施を図る必要がある。																																			
所管課	教育委員会事務局／生涯学習課																																			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育事業費	02放課後児童健全育成事業	決算書	P.94
細事業名	01 放課後児童健全育成事業					
総合計画	計画項目 25 子育て支援の総合的な推進					(参考)当初予算額
決算	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	167,744千円		
	163,785千円	164,145千円	99.7%	360千円		
目的	保護者の就労等により放課後や長期休業期の昼間に家庭保育を受けることができない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>保護者の就労等により、放課後や長期休業期等の昼間に家庭保育を受けることのできない小学校に通学する児童を対象に、安心して生活できる場を提供することで、子どもたちの健やかな成長に努めた。</p> <p>○開設状況</p> <p>年間開設日数：280日</p> <p>開設時間：授業終了後～午後6時30分（長期休業期及び土曜日は午前7時30分～）</p> <p>年間平均児童数：449人（10か所、12支援単位）</p> <p>（峰山52人・長岡20人・いさなこ41人・大宮56人 口大野①51人・口大野②37人・網野南34人・網野北43人 丹後21人・弥栄26人・久美浜①53人・久美浜②15人）</p> <p>○需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費等） 5,957千円</p> <p>○委託料（消防設備点検、浄化槽点検、児童送迎車運転等） 8,519千円</p> <p>○放課後児童健全育成事業委託料 147,996千円</p> <p>○工事請負費（峰山・口大野エアコン設置工事等） 521千円</p> <p>○その他の経費（火災・自動車共済等保険料・自動車重量税ほか） 792千円</p>					
主な財源	<p>放課後児童健全育成事業利用料 19,331千円</p> <p>公有財産使用料 10,904千円</p> <p>子ども・子育て支援交付金（1/3） 15,548千円</p> <p>子ども・子育て支援交付金（1/3） 15,548千円</p> <p>市有自動車損害共済金 85千円</p>					
成果・課題	○利用者数が増加傾向にある中、待機児童ゼロを継続し児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育て就労の両立を支援した。					
	○年々増加傾向にある利用者に対応するため、小学校の空き教室の活用など施設拡充を検討する必要がある。					
所管課	教育委員会事務局／子ども未来課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	18子ども放課後対策推進事業	決算書	P.144																		
細事業名	01 子ども放課後対策推進事業																							
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進																						
決算額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考) 当初予算額																				
891千円	908千円	17千円	98.1%	908千円																				
目的	放課後等に小学校の余裕教室等を子どもたちの安全・安心な居場所として活用し、地域住民の参画により、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。																							
主要な事務・事業の概要	<p>○委託料 放課後子ども教室運営委託料（2か所） 891千円</p> <p>※事業の概要</p> <table border="1"> <tr> <td>実施場所</td> <td>網野北小学校区放課後子ども教室 網野北小学校施設内</td> <td>網野南小学校区放課後子ども教室 網野南小学校施設内</td> </tr> <tr> <td>委託先</td> <td>放課後子ども教室実行委員会</td> <td>放課後子ども教室実行委員会</td> </tr> <tr> <td>参加児童数</td> <td>延べ716人（1回平均18人）</td> <td>延べ1,695人（1回平均42人）</td> </tr> <tr> <td>支援員の数</td> <td>延べ287人（1回平均7人）</td> <td>延べ381人（1回平均10人）</td> </tr> <tr> <td>実施日</td> <td>平成30年4月～平成31年3月（授業のある水曜日の放課後）40回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動内容</td> <td colspan="2">自主学習、体験活動、集団遊び、自由遊び、スポーツなど</td> </tr> </table>				実施場所	網野北小学校区放課後子ども教室 網野北小学校施設内	網野南小学校区放課後子ども教室 網野南小学校施設内	委託先	放課後子ども教室実行委員会	放課後子ども教室実行委員会	参加児童数	延べ716人（1回平均18人）	延べ1,695人（1回平均42人）	支援員の数	延べ287人（1回平均7人）	延べ381人（1回平均10人）	実施日	平成30年4月～平成31年3月（授業のある水曜日の放課後）40回		活動内容	自主学習、体験活動、集団遊び、自由遊び、スポーツなど			
実施場所	網野北小学校区放課後子ども教室 網野北小学校施設内	網野南小学校区放課後子ども教室 網野南小学校施設内																						
委託先	放課後子ども教室実行委員会	放課後子ども教室実行委員会																						
参加児童数	延べ716人（1回平均18人）	延べ1,695人（1回平均42人）																						
支援員の数	延べ287人（1回平均7人）	延べ381人（1回平均10人）																						
実施日	平成30年4月～平成31年3月（授業のある水曜日の放課後）40回																							
活動内容	自主学習、体験活動、集団遊び、自由遊び、スポーツなど																							
主な財源	京のまなび教室推進事業費補助金（2/3）				506千円																			
成果・課題	<p>○子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）として放課後子ども教室を開設し、子ども達は異年齢の方と交流し、地域住民の協力を得てさまざまな体験活動を実施することができた。</p> <p>○子ども教室の運営は地域住民の協力を得て実施することになっており、スタッフの確保が課題である。</p>																							
所管課	教育委員会事務局／子ども未来課																							